映画の想像力が炸裂する「SF・怪奇映画特集」

現実をちょっと越えてみると、作家たちは、自らの想像力を爆発させることができる。
自由な発想が形になってゆく喜び、比喩の中にこっそり潜ませた皮肉、
観る者／時代によって様々に変化する解釈。SFそして怪奇映画の魅力を再確認！

『アエリータ』Аэлита ▶9/20[土]12:00～(小ホール)

1924年/35mm/モノクロ/無声/84分/ソ連

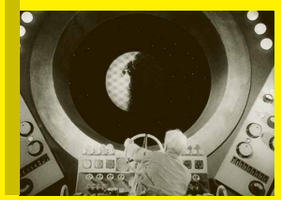
監督・脚本：ヤーコフ・プロタザーノフ／原作・脚本：アレクセイ・トルストイ／出演：ユーリア・ゾーンツェワ、ニコライ・ツェレテリ、ワレンチナ・クインジ

火星で爆発する愛と革命とアヴァンギャルド

技師ローシは、浮気を疑い妻を殺してしまう。建設中の宇宙船で火星へ逃げたローシは、憧れの火星の女王アエリータと恋に落ちるが、同行した赤軍兵士が火星に革命を起こす。ロシア・アヴァンギャルド美術による火星のイメージは『メトロポリス』の先駆をなす。

『宇宙飛行』Космический рейс ▶9/20[土]14:00～(小ホール)

1935年/35mm/モノクロ/70分/ソ連



監督：ワシリー・ジュラヴリョフ／脚本：アレクサンドル・フィリモノフ／撮影：アレクサンドル・ガリペリン／出演：セルゲイ・コマロフ、ワシリー・コヴリギン、ニコライ・フェオクチストフ

科学考証をもとに宇宙旅行を描く先駆的作品

初の月世界旅行をめざす教授が、慎重派の教授の反対を押し切って有人宇宙飛行を実現、月までの往復を果たす。現代的ロケット工学の理論を最初につくった科学者ツィオルコフスキーが監修し、本人も所長役で登場する。科学考証を踏まえたソ連初の本格SF映画。

『惑星ソラリス』Солярис ▶9/20[土]15:45～(小ホール)

1972年/35mm/カラー/165分/ソ連

監督・脚本：アンドレイ・タルコフスキー／原作：スタニスワフ・レム／出演：ナターリヤ・ボンダルチュク、ドナタス・バニオニス、ユーリー・ヤルヴェト

実体化するトラウマから甦る封印された記憶

ソラリス星系の惑星探査で宇宙基地に派遣されたクリス。そこに死んだはずの妻が現れる。実体化するトラウマに基地は混乱し、クリスもまた意識の底に封印した自分自身の記憶と対峙する。異質な知性とのコンタクトを描くポーランドの作家レムの代表作の映画化。

『火を噴く惑星』Планета бурь ▶9/21[日]13:00～(小ホール)

1961年/35mm/カラー/83分/ソ連

監督・脚本：パーヴェル・クルシャンツェフ／脚本：アレクサンドル・カザンツェフ／撮影：アルカージー・クリモフ／出演：ウラジーミル・エメリヤノフ、ゲオルギー・ジジョーノフ、ゲンナジー・ヴェルノフ

『スター・ウォーズ』を生んだ宇宙冒険映画

当時まだ謎に包まれていた金星。そこへ派遣された国際調査隊は、宇宙船の爆発や国の対立などさまざまな障害を乗り越え、調査を進める。金星の未知の生物やロボットのジョンなど見どころが満載で、ルーカスをはじめハリウッドの映画人にも多大な影響を与えた。

『妖婆、死棺の呪い』Вий ▶9/21[日]15:00～(小ホール)

1967年/35mm/カラー/73分/ソ連

監督：コンスタンチン・エルショフ、ゲオルギー・クロパチェフ／撮影：フョードル・プロヴォロフ／出演：レオニード・クラヴリョフ、ナターリヤ・ワルレイ、アレクセイ・グラズィリン

棺桶が空を飛び、妖怪がわき出すホラー怪作

夏休みを迎えたウクライナ。神学生ホマーは故郷へ帰る道すがら、魔女と対決して撃退する。ある村で、死んだ若い娘への祈とうを頼まれ、教会で三日三晩過ごすことになるが、そこに妖怪たちが押し寄せる。"ソ連の円谷英二"A・ブトゥシコが監修した特撮映画。

『不思議惑星 キン・ザ・ザ』Кин-дза-дза! ▶9/21[日]17:00～(小ホール)

1986年/35mm/カラー/135分/ソ連

監督・脚本：ゲオルギー・ダネリヤ／脚本：レヴァズ・ガブリアゼ／撮影：バーヴェル・レベシェフ／出演：スタニスラフ・リュブシン、エフゲニー・レオーノフ、ユーリー・ヤコヴレフ

ソビエト不条理SFコメディーの金字塔

ソ連に暮らす中年男と学生が、街なかで会ったホームレス風の男の持つ装置でキン・ザ・ザ星系の惑星ブリュクに瞬間移動させられる。地球とは言葉も習慣も価値観も違う世界で二人は珍道中を繰り広げ、やがて階級社会の不条理に気づく。カルト的人気を誇る怪作。

『エバンス博士の沈黙』Молчание доктора Ивенса ▶9/23[火・祝]13:00～(小ホール)

1973年/35mm/カラー/90分/ソ連

監督・脚本：ブジミール・メタリニコフ／撮影：ユーリー・ソコル／出演：セルゲイ・ボンダルチュク、ジャンナ・ボロトワ、イリーナ・スコプツェワ

KGBに追われる異星人と科学者のロマンス

事故に遭った飛行機の乗客が、異星人に救出される。ところが、宇宙船が軍隊の攻撃を受け、異星人は救出した地球人の記憶を消して地球へ戻す。ひとりだけ記憶の残るエバンス博士のもとを異星人の女性が訪れ、KGBとの追跡劇が始まる。

『死者からの手紙』Письма мёртвого человека ▶9/23[火・祝]15:00～(小ホール)

1986年/35mm/カラー/88分/ソ連

監督・脚本：コンスタンチン・ロプシャンスキー／脚本：ヴャチェスラフ・ルイバコフ、ボリス・ストルガツキー／出演：ロラン・ブイコフ、イオシフ・ルィクリン、ヴィクトル・ミハイロフ

"核の冬"が訪れた世界の日常を描く問題作

想定外のミスから起きた核戦争で"核の冬"が訪れた世界。核シェルターに入れず博物館の地下に逃げ込み、緩慢な死を迎えつつある人々の日常を描き、生きる意味を問いかける。監督は『ストーカー』で助監督を務め、放射能に満ちた世界を描く映画を多く作った。

『ストーカー』Сталкер ▶9/23[火・祝]17:00～(小ホール)

1979年/35mm/カラー/160分/ソ連

監督：アンドレイ・タルコフスキー／脚本：アルカージー・ストルガツキー、ボリス・ストルガツキー／出演：アレクサンドル・カイダノフスキー、アリーサ・フレインドリフ、アナトリー・ソロニーツィン

欲望、願い、望み……人間の心の闇と希望

立入禁止の「ゾーン」は奇妙な罠に満ちているが、その中心にある部屋に行けば、本当の望みがかなうという。案内人ストーカーに導かれゾーンに不法侵入した二人の男は、自分の本当の望みとは何かを考えはじめる。ストルガツキー兄弟の原作を独自の解釈で映画化。

『THX 1138』(15分版) Electronic Labyrinth: THX 1138 4EB ▶9/24[水]15:00～

1967年/16mm/カラー/15分/アメリカ

監督・脚本：ジョージ・ルーカス／撮影：F・E・ジップ・ジマーマン／編集：ダン・ナッチシーム／出演：ダン・ナッチシーム、ジョイ・カーミッチェ、デヴィッド・マンソン

ジョージ・ルーカスの原点、幻のデビュー作

25世紀、人類は地下シェルターでコンピューターに支配され、番号で管理されている。THX-1138は、ルームメイトの女性とともに精神安定剤の服用をやめ、二人は愛し合う。コンピューターは二人を逮捕し引き離すが…。ルーカス監督の原点を示す幻のデビュー作。

『ダーク・スター』Dark Star 『THX 1138』と併映

1974年/35mm/カラー/83分/アメリカ

監督・脚本：ジョン・カーペンター／脚本：ダン・オバノン／製作総指揮：ジャック・H・ハリス／出演：ダン・オバノン、ブライアン・ナレル、ドレ・バヒッチ

宇宙でサーフィン？ 噂のSFカルト映画

21世紀半ば、探査船ダーク・スター号は、新天地を求めて遠い宇宙の彼方を飛んでいた。ある日、流星群への突入で船内の爆弾が故障してしまう…低予算ながら随所に込められた秀逸なアイデアと変わらぬ作家性に驚嘆する、奇才ジョン・カーペンター長編デビュー作。

Time Table

監督の来場予定およびゲスト来場の追加情報は随時HPで発表します。

G…ゲスト来場予定
開場は開演時間の15分前を予定。**ほぼ毎回開始時間が変わります。ご注意ください！**

第36回 PFF 検索

9.13[土]	大ホール	11:30～G PFFアワード A『ナイアガラ』『人に非ず』	14:30～G PFFアワード B『ひこうき雲』『埋み火』『反駁』	18:00～G PFFアワード C『小さな庭園』『暁の石』『ガンバレとかうるせぇ』
14[日]	大ホール	11:30～G PFFアワード D『彼は月へ行った』『丸』	14:30～G PFFアワード E『波伝谷に生きる人びと』『乱波』	18:00～G PFFアワード F『怪獣の日』『沖縄／大和』
15[月・祝]		休館日		
16[火]	東京国立近代美術館フィルムセンター・大ホール	12:00～G PFFアワード G『多摩丘陵の熊』『独裁者、古賀。』	15:30～G PFFアワード H『流れる』『還るばしょ』『Super Tandem』	18:30～G PFFアワード I『ネオ桃太郎』『モーターズ』
17[水]	東京国立近代美術館フィルムセンター・大ホール	12:00～G PFFアワード C『小さな庭園』『暁の石』『ガンバレとかうるせぇ』	15:30～G PFFアワード B『ひこうき雲』『埋み火』『反駁』	18:30～G PFFアワード A『ナイアガラ』『人に非ず』
18[木]	東京国立近代美術館フィルムセンター・大ホール	12:00～G PFFアワード E『波伝谷に生きる人びと』『乱波』	15:30～G PFFアワード D『彼は月へ行った』『丸』	18:30～G PFFアワード H『流れる』『還るばしょ』『Super Tandem』
19[金]	東京国立近代美術館フィルムセンター・大ホール	12:00～G PFFアワード F『怪獣の日』『沖縄／大和』	15:30～G PFFアワード I『ネオ桃太郎』『モーターズ』	18:30～G PFFアワード G『多摩丘陵の熊』『独裁者、古賀。』
20[土]	東京国立近代美術館フィルムセンター・大ホール	11:00～G 素晴らしい特撮の世界 第一部『WOOD JOB!』のひみつ大公開 第二部 上映作品間もなく発表！ ※上映作品はHPにて発表 Invited Works 3		18:00～G ようこそ ワンピース体験へ！ Invited Works ベストセレクション＋お蔵出し＋新作発表！ ※上映作品はHPにて発表 4
	小ホール	12:00～ SF・怪奇映画特集『アエリータ』Аэлита Invited Works 5	14:00～ SF・怪奇映画特集『宇宙飛行』Космический рейс Invited Works 5	15:45～ SF・怪奇映画特集『惑星ソラリス』Солярис Invited Works 5
21[日]	大ホール	12:00～G 羽仁進監督特集『教室の子供たち』『絵を描く子どもたち』 Special Program 1	14:15～G 映画監督への道 山下敦弘監督に聞く「リズムは獲得できるのか？」 Special Program 2	18:00～G 羽仁進監督特集『不良少年』 Special Program 1
	小ホール	13:00～ SF・怪奇映画特集『火を噴く惑星』Планета бурь Invited Works 5	15:00～ SF・怪奇映画特集『妖婆、死棺の呪い』Вий Invited Works 5	17:00～ SF・怪奇映画特集『不思議惑星 キン・ザ・ザ』Кин-дза-дза! Invited Works 5
22[月]		休館日		
23[火・祝]	大ホール	11:30～G 羽仁進監督特集『恋の大冒険』 Special Program 1	14:30～G 羽仁進監督特集『初恋・地獄篇』 Special Program 1	18:00～G 映画監督への道 石井裕也監督に聞く「不安は克服できるのか？」 Special Program 2
	小ホール	13:00～ SF・怪奇映画特集『エバンス博士の沈黙』Молчание доктора Ивенса Invited Works 5	15:00～ SF・怪奇映画特集『死者からの手紙』Письма мёртвого человека Invited Works 5	17:00～ SF・怪奇映画特集『ストーカー』Сталкер Invited Works 5
24[水]	大ホール	12:30～ 羽仁進監督特集『手をつなぐ子ら』 Special Program 1	15:00～ SF・怪奇映画特集『THX 1138』THX 1138 4EB『ダーク・スター』Dark Star Invited Works 5	18:00～G 第23回PFFスカラシップ作品プレミア上映『過ぐる日のやまねこ』 PFF Scholarship Films
25[木]	大ホール			16:30～G PFFアワード2014 表彰式&グランプリ作品上映

[お問い合わせ]（平日11:00～18:00）
PFF事務局 03-5774-5296
PiaFilmFestival
@pff_award

※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが変更になる場合もございます。
全プログラムとも、録画・録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。

Ticket

チケット一覧

前売券はチケットぴあでのみ発売です。
8月9日[土]プレリザーブ受付／16日[土]発売開始

全席指定制	大ホール：定員310名 小ホール：定員151名

コンペティション部門「PFFアワード2014」

Pコード：553-384	前売券	当日券
一般1回券	1,000円	1,200円
高校・大学・シニア	——	800円
障害者・介添者/小学生・中学生	——	520円
表彰式+グランプリ上映/1回券	1,500円	1,500円
表彰式+グランプリ上映/障害者・介添者	——	1,000円

Pコード：465-736	前売券	当日券
PFFアワードフリーパス	7,000円	——

※フリーパスは、限定20枚／表彰式使用可。(カタログ付き)
※フリーパスは、座席指定券との引き換えが必要です。引き換えは、会場1F窓口にて各回上映30分前から開演時刻まで行います。満席の場合は、ご鑑賞いただけない場合がございます。

特別企画

Pコード：553-400	前売券	当日券
一般1回券	1,000円	1,200円
高校・大学・シニア	——	800円
障害者・介添者/小学生・中学生	——	520円

PFFスカラシップ／招待作品部門

Pコード：553-385	前売券	当日券
一般1回券	1,300円	1,500円
高校・大学・シニア	——	1,000円
障害者・介添者/小学生・中学生	——	520円
素晴らしい特撮の世界/1回券	2,000円	2,500円
素晴らしい特撮の世界/障害者・介添者	——	2,000円

キャンパスメンバーズ《当日》割引 実施！
○国立美術館キャンパスメンバーズの方は、学生証・職員証のご提示により当日料金が割引になります。詳しくは「第36回PFF」HPをご覧ください。(一部プログラムを除く)

びあ映画生活クーポン《当日》割引 実施！
○窓口にてクーポン提示で、前売券の料金でご覧いただけます。(表彰式&グランプリ作品上映、素晴らしい特撮の世界は除く) 詳しくは「第36回PFF」HPをチェック！

[前売券の販売について]

前売券はチケットぴあでのみ発売です。
※フィルムセンター窓口での販売はございません。
○チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブン-イレブンの店舗で直接購入する場合、発券手数料として108円／枚がかかります。
○インターネット、電話予約にて購入された場合、発券手数料およびシステム使用料として、324円／枚がかかります。
チケットぴあ音声認識予約：**0570-02-9999** pia.jp/t
○前売券の電話予約は各上映日の5日前まで、直接購入は各上映日の2日前までとなります。
○前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

[当日券の販売について]

○当日券は、各回1名につき1枚販売いたします。
○当日券(当日、当該枠のみ有効)は、会場1F窓口にて各回上映30分前から開映時刻まで販売します。
○開映後の当日券の販売はいたしません(前売券をお持ちの方に限り途中入場可)。
○当日券の有無は、各上映の前日に次のホームページで確認することができます。 **http://www.momat.go.jp/**
○学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は証明できるものをご提示ください。障害者介添者は原則1名まで障害者と同じ料金でご入場いただけます。

[指定席について]

○全席指定です。「前方」「中央」「後方」のいずれかを選んでご購入いただけますが、ご希望に添えない場合がございます。
○上映開始後はお手持ちのチケットのお席にご案内できない場合がございます。お時間に余裕を持ってお越しください。

東京国立近代美術館フィルムセンター

●銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分
●浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分
●有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分
●JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分